

AlmaがBIBFRAMEとBFLCオントロジーを使用してレコードを作成する方法

Almaは、BIBFRAMEおよびBFLCオントロジーをメタデータ・インフラストラクチャに統合し、柔軟な標準ベースの目録作成ワークフローをサポートします。このセクションでは、Almaがこれらのオントロジーを活用してレコードの作成、編集、および検証を強化する方法を概説します。

Almaのオントロジー使用における主な側面は次のとおりです：

- Almaは、BIBFRAMEおよびBFLCオントロジーをメタデータ構成とアプリケーションプロファイルにアップロードします。これにより、Almaは既存のレコードとの下位互換性を維持しながら、必要に応じてオントロジーを更新できます。
- オントロジーの更新がリリースされると、Almaチームはそれを分析し、アプリケーションプロファイルに統合します。
- Alma LODエディタは現在、作品およびインスタンスのキークラスから定義されたレコードとテンプレートの作成に対応しています。
- レコードを作成したり、編集したりする際に、Almaのエディタはオントロジーで定義された関係に基づいて適切なプロパティとクラスを提案します。例えば、bf:Instanceを作成する際、エディタはセクションに対してbf:provisionActivityプロパティを提案します。ただし、このプロパティはbf:Workを作成する際には推奨されません。オントロジーにおいて、このクラスに適用可能であるとは定義されていないからです。
- BIBFRAMEオントロジーの一部のプロパティは、「使用対象」（ドメイン）および「期待値」（範囲）の定義によって厳密に制約されていないことに注意してください。その結果、bf:noteやbf:agentといったプロパティは広く適用できるため、編集対象のクラスに関わらず、エディタによって常に提案されます。
- BFLC拡張からBIBFRAMEメインオントロジーに移動されたプロパティとクラスが、いくつか存在します。Almaは、下位互換性を保つために、これらの重複エンティティを、BIBFRAMEアプリケーションプロファイルの一部として保存します。ただし、新しいレコードを作成するときや既存のレコードを編集するときに、BIBFRAMEエディタは、これらの重複したプロパティや推奨されないプロパティとクラスをユーザーに提案しません。